

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	事業所自体の歩むべき具体的な方針や目標を掲げて利用者の人生そのものにより添った実践的な取り組みが求められる。	施設理念にあるように利用者様、1人1人のそのひとらしさを考えて援助していく。	利用者の1人1人の現在までの人生を知る(家族に情報提供や本人の言動やしぐさ等から読み取る)部分的な面でも良いので慣れ親しんだ生活の継続が実現できるように援助していく。	12ヶ月
2	20	理念に掲げるテーマに基づいた取り組みを展開し職員の更なる意識づけとセンター方式による支援マップの活用を期待する。	その人らしさを求めて、職員が1人1人意識してかかわる。連携を取ることができる。	利用者ノートや支援マップや気づきのシート等の活用をして、情報の共有や各職員同士の連携ができる。	12ヶ月
3	23	経過記録に利用者の具体的な事や計画に沿ってしたことは記入されているが、利用者のことを十分に知る為に生活の中での表情や思いを記録に残し思いに寄り添ったケアができていないかのカンファレンスを開くように。	経過記録の記載方法の統一や表情や行動に目をむけ、利用者が今、何を思っているのかを読み取り、ケアに生かすことができる。	記録については各自学習し、利用者の心情を読み取る努力をする。心情を理解し本人の思いに寄り添った援助を行う。記録を活用し、統一した援助ができるように努力する。	12ヶ月
4	26	介護計画見直しの前のサービス担当者会議は家族、利用者、関係の意見を取り入れて行い、ケアプランに反映させ定期的な見直しをする。	利用者家族も、援助の対象であることも把握し、担当者会議開催時には家族の参加も求める。意向について話を聞く。	面会時や介護保険更新時等、利用者の状況の変化を詳しく説明する。必要時には担当者会議の開催を行い、ケアプランの修正をしてケアにつなげていく。	12ヶ月
5	35	グループホーム独自ので利用者も含めた訓練の実施も検討が必要。	防災訓練時にグループホームでの初期消火等の訓練の実地	年に1回、防災訓練時に利用者を含めた訓練が行えるよう関係各所に連絡する。また、職員の研修を行う。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。